



議長 局長 補佐 係



令和4年11月10日

鹿追町議会議長 吉田 稔 様

環境技術研究会

代表 畑 久 雄



令和4年度政務活動費に係る調査及び収支報告について

鹿追町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定により、下記のとおり令和4年度政務活動費調査及び収支報告を提出します。

記

- 1 政務活動費調査報告書 別紙1
- 2 政務活動費収支報告書 別紙2
- 3 出席者名 畑久雄、狩野正雄、台蔵征一

別紙1

令和4年度 政務活動費調査報告書

1 調査期日

令和4年11月3日（木）～11月5日（土）

2 調査目的

過疎地域における振興策の取り組みについて

3 調査項目

「環境モデル都市」再エネ・水力発電・木質バイオマスについて

4 調査場所

岡山県西粟倉村役場

5 調査結果

6 所感及び提言に含む

6 所感及び提言（活用策等）

別紙のとおり

〔畑 久雄〕

岡山県西粟倉村は鳥取県と兵庫県に接した山間部、岡山市から車で3時間ほどのところに位置している。令和4年3月の人口は1,384人、597世帯で高齢化率37.4%である。

標高263m～1,280m、年間平均気温11度、降水量約2,000mm、面積は57.93km²で93%が森林、そのうち84%が人工林である。

2004年、地域再生マネージャー事業により地域活性化への動きが始まり、同年、住民アンケートの結果合併協議会を離脱して自主自立の決意をする。2007年、雇用対策協議会を設立し、Iターン・Uターン・新規就農者を募る。これには、村民以外の視点から村の資源を発見する目的もあった。

2008年、林業の6次産業化と、それによる付加価値の添加で50年先を見据えた森林づくり「百年の森林構想」に着想し、翌年自治体と民間での「百年の森林事業」を開始する。

この事業で優良材を育成、地域資源・雇用・経済を循環し、安全・環境にやさしい「百年の森林に囲まれた上質な田舎」を目指す。当初、実現不可能と思われた「百年の森林構想」であったが、放置林を含めた森林管理・整備や林業の6次産業化などを行政と民間で分業することにより実現する。

また、地域の新たな経済を生み出すローカルベンチャー（起業により地域課題の解決を目指す）を取り入れることにより想いを持った若者が集い、これまでの12年間で47の事業が生まれ、206人が住んでいる。

「百年の森林構想」から14年、木質バイオマスの取組、小水力・太陽光・風力発電及びEVなど、課題と可能性を分析し推進することにより脱炭素化を進めているが、専門的分野が多いことなどから今後人材の確保と育成が必要である。

鹿追町の基幹産業は、農業（酪農・畑作）及び観光業である。様々な作物があるが、町内で加工できるものは少ない。農業の6次産業化等について調査・研究を進めることが必要である。

さらにバイオマスからの電力や太陽光・水力発電などが家庭等のエネルギーになるよう検討・推進することも必要である。

移住・定住の観点からも自然留学制度の推進、教育への投資は今後のまちづくりに欠かせない。

主産業である林業を中心とした地域振興策を村と村民が一体となり考え、資源と経済を循環させる持続可能な村づくりに取り組む姿勢を強く感じた。

〔狩野正雄〕

西栗倉村は、岡山県北部の中国山地に囲まれた、鳥取県と兵庫県に接した村で、人口1,450人、平地が少なく切り立った山林が集落に迫っている。

平成の大合併では7自治体による協議が進むなか、西栗倉村は独自の村づくりを選択した。

当時の人口は1,500人ほどで、林業以外の産業はなく、経済基盤に乏しい状況であった。

しかし、現在は村外から若い移住者が増え、定住したことで小さくてもキラリと光る村があった。

西栗倉村の村づくりの考え方は、そこにある資源を徹底的に洗い出し、知恵を絞り環境を重視しながら、生み出される価値をビジネスとして育てあげていることだ。

これまでの常識を捨て、新たな視点から取り組むことで若い人の定住が進み、子育てしやすい環境が生まれている。

基幹産業である林業を安全で効率よく働ける職場環境にしたことで、雇用が拡大して木材として価値を高めている。

「100年の森林づくり」の計画は長いスパンで村の将来を考えており、これまでの大量生産、大量消費、無駄なエネルギーの浪費や家計の在り方に警鐘を鳴らしているように思えた。

今回の視察で感じたことは、生活環境や労働環境を見直すことで、地域全体に劇的な変化をもたらすことを実感した。企業誘致や観光開発による町づくりだけではない、新たな道があることに気づかされた。

身の丈に合った投資と施設整備、新しい技術や効率的な機械化で、西栗倉村にローカルベンチャーという新たなビジネスの挑戦者を呼び込んでいる。

それぞれの能力と知識を生かすため、それぞれが助け合い、明るく健康に人生を送り、村を支えていた。

村の環境や資源を一番理解しているのは、そこに暮らす住民である。

都市部の名だたるコンサルタントの提案は村の実態とかけ離れていると、講義していただいた白簾佳三氏の言葉である。

鹿追町も今一度足元にある資源を見つめ直し、人・物・金がこの地域の中で回るシステムを考えていくことが必要である。

〔台蔵征一〕

1,400人の過疎地域が取り組んでいること。

岡山県西粟倉村は2004年の平成大合併を住民アンケート結果により拒否し、自立の道を歩むという大きな決断をした。近隣7町村で一つの町にする協議を進めてきて直前でやめ、他6町村で合併を進めた。

令和4年の村の人口は1,400人弱で、65歳以上の高齢化率は37.4%であり、独立していくには決して楽な将来ではなかった。

以後2009年に100年の森林（もり）事業をスタートさせ、2058年を100年目とする村の将来設計をつくり上げた。

村が村らしくあるために「上質な田舎」を目指していくという地域づくりのコンセプトが定められ、「心産業」というコンセプトで産業を生み、仕事を生み出す方向が定められる。村は93%が森林で、そのうち84%は人工林である。

「岡山県スマートタウンパイロット指定」、「環境モデル都市選定」、「バイオマス産業都市認定」、「ローカルベンチャースクール開始」、「SDGs未来都市選定」、そして2022年4月に鹿追町と同時に全国26か所の中に国から「脱炭素選考地域」の指定を受け、村の活動を続けてきている。

今の村は2006年にローカルベンチャーがスタートしてから、企業づくりや林業の6次化に力を入れ、小さな村が持続できる可能性を生み出している。

時のキーマンがいて、地域再生マネージャー事業で村に関わっていた姫路市のリサイクル会社社長と、当時の道上村長が村を引っ張ってきた。今は当日研修の説明をしてくれた課長補佐の白簾氏と役場参事の上山氏の2人が村の活性化に関わり、長く担当を続けているという。

村民は若い人たちが少しずつ増えてきて、10人以下だった出生数が20人以上になり、最近新しい保育施設も建設されている。

産業の中心である森林資源を利用した薪ボイラーで、村内にある3つの温泉施設へ熱を供給、チップボイラーで村内の公共施設に暖房と給湯、蓄熱タンクを設置することで効率的に運用している。小型バイオマス発電機を7か所に設置することで、災害時の自立電源となっている。

他にも3か所の小水力発電、6か所の太陽光パネル発電など再生可能エネルギーで売電収入も増やし続けている。これは家庭で現在使用されている電気の70%相当となっている。

長く色々な事業に取り組んできており、今回の脱炭素の事業も全てが村を活性化する地域づくりのためであり、自分の村を自分で考えるために推進してき

ている。

鹿追町が 2022 年度から取り組みはじめた E V 自動車購入、冷蔵庫の入れ替え事業は 2013 年から進めている。

太陽光パネル設置事業など全部で 15 事業に補助金を出しており、省エネ型電気冷蔵庫は、ここ 3 年間で 30 台以上買い替えられている。E V 自動車の購入は低調とのことだが、村内数か所に充電設備が設置されていた。

今後は役場が中心となって企画し、新しい環境会社をつくり（民間）森林（もり）と再生エネルギーを最大利用した村づくりを推進する計画である。

脱炭素先行地域づくり事業は、令和 4 年現在で 18 億円の計画で進めている。

2030 年までの CO₂排出実質 0（ゼロ）を目指している。かなり難しい課題であるが、しっかりと進めたい村の考え方の説明があった。

今は住んでいる人が生きるを楽しむ村づくりを地域を挙げて進めている。その姿はわが町にも大いに参考になる。

鹿追町は平成の大合併をせず、自立の道を歩む決断をしてきた。環境を重視した産業を推進して「花と芝生のまちづくり」を町民皆でつくりあげ、きれいな明るい町となった。

もっと関係人口づくりを進め、まちづくりは人づくりの基本を重視していく必要性を感じる。

地域おこし協力隊やふるさと納税者との関係の見直しの必要性があるのではないか。今進めている自然体験留学制度での人と地域との関係性の継続も重要。新たなまちづくりや農業者との関係づくりも必要だ。

脱炭素先行地域づくり事業も、今年から令和 12 年度までであるので、ハード事業を進めながら新たな農業・観光の活性化で産業の安定化を進め、元気あるすてきな鹿追町になるように皆で努力したいものである。

別紙2

令和4年度政務活動費収支報告書

1 収入

(単位：円)

科目	収入額	備考
政務活動費	325,840	町より助成
自己負担金	7,040	航空券等手配料金6,600円、振込手数料440円 (申請外のため)
合計	332,880	

2 支出

(単位：円)

科目	支出額	備考	
調査研究費			
研修費	332,880	車賃《明細別紙》	7,200円
		宿泊《 》	49,500円
		航空《 》	191,430円
		バス《 》	2,340円
		鉄道等《 》	62,370円
		視察費《 》	13,000円
		手数料《 》	7,040円
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
広報費			
事務費			
合計	332,880		

【別紙2 内訳】

■ 車 賃

日付	説明	明 細	備 考
11/3・5	役場 ⇄ 帯広空港	60円 × 60 km × 2 回 =7,200円	台蔵車
計		7,200円	

■ 宿 泊

日付	説明	明 細	備 考
11/3	ホテルルートイン津山駅前	8,000円 × 3 人 =24,000円	農協観光
11/4	リッチモンドホテル姫路	8,500円 × 3 人 =25,500円	〃
計		49,500円	

■ 航 空

日付	説明	明 細	備 考
11/3	帯広空港 ⇒ 羽田空港	31,270円 × 3 人 =93,810円	農協観光
〃	羽田空港 ⇒ 岡山空港	18,170円 × 3 人 =54,510円	〃
11/5	羽田空港 ⇒ 帯広空港	14,370円 × 3 人 =43,110円	〃
計		191,430円	

■ バ ス

日付	説明	明 細	備 考
11/3	岡山空港 ⇒ 岡山駅	780円 × 3 人 =2,340円	中鉄バス
計		2,340円	

■ 鉄 道

日付	説明	明 細	備 考
11/3	岡山駅 ⇒ 津山駅	1,170円 × 3 人 =3,510円	JR西日本
11/4	津山駅 ⇒ 西粟倉駅	1,430円 × 3 人 =4,290円	〃
〃	西粟倉駅 ⇒ 姫路駅	1,430円 × 3 人 =4,290円	〃
11/5	姫路駅 ⇒ 品川駅	16,460円 × 3 人 =49,380円	農協観光
〃	品川駅 ⇒ 羽田空港	300円 × 3 人 =900円	〃
計		62,370円	

■ 視察費

日付	説明	明 細	備 考
11/4	西粟倉村視察料	10,000円	西粟倉村
〃	〃 資料代	1,000円 × 3 人 =3,000円	〃
計		13,000円	

■ 手数料

日付	説明	明 細	備 考
10/25	手配料金(航空券他)	2,200円 × 3 人 =6,600円	農協観光(自己負担)
〃	振込手数料(航空券他)	440円	鹿追町農協(自己負担)
自己負担金計		7,040円	

交付対象計	325,840円	108,614円/人
自己負担計	7,040円	
経費合計	332,880円	110,960円/人

支払い先 内訳

区 分	支払い先	金 額		領収書番号
		支払額(A)	交付対象額(B)	
バ ス	中鉄バス	2,340円	2,340円	①
鉄 道	JR西日本	12,090円	12,090円	②
車 賃	台蔵 征一	7,200円	7,200円	③
視察料	西栗倉村	13,000円	13,000円	④
宿泊・航空・鉄道	(株)農協観光	297,810円	291,210円	⑤
振込手数料	鹿追町農協	440円	0円	
合 計		332,880円	325,840円	(A)-(B) 7,040円

※支払額と交付対象額の差額は自己負担

支払証明書

①

金2,340円

但し、
令和4年11月3日～11月5日まで政務活動での交通費として

内訳

区 分		日付	運賃単価	3人分
岡山空港 ⇒ 岡山駅	中鉄バス(空港リムジンバス)	11/3	780円	2,340円
計			780円	2,340円

上記金額について、正に支払いしたことを証明します。

令和4年11月5日

環境技術研究会 代表 畑 久 雄 

支払証明書

②

金12,090円


但し、
令和4年11月3日～11月5日まで政務活動での交通費として

内訳

区 分		日付	運賃単価	3人分
岡山駅 ⇒ 津山駅	JR西日本(津山線快速)	11/3	1,170円	3,510円
津山駅 ⇒ 西粟倉駅	JR西日本(姫路線・智頭急行)	11/4	1,430円	4,290円
西粟倉駅 ⇒ 姫路駅	JR西日本(智頭急行・JR山陽本線)	11/4	1,430円	4,290円
計			4,030円	12,090円

上記金額について、正に支払いしたことを証明します。

令和4年11月5日

環境技術研究会 代表 畑 久 雄 

③

領 収 証

鹿追町議会

様

No. _____

★ 7,200円

内 訳	
現金	
小切手	/
手 形	/
消費税額等(%)	

但

車賃 (鹿追 - 帯広空港)

4 年 11 月 5 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

台 蔵 証 一 書

コクヨ ウケ-98

④

領 収 書

令和 平成	4	年度	納入	鹿追町議会議員 様				
金額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
			¥	1	3	0	0	0
ただし、西栗倉村視察代として								
<input type="checkbox"/>	コピー用紙代	@	円	×				枚
<input type="checkbox"/>	地図代	@	円	×				枚
<input type="checkbox"/>	広報誌代 (1部200円 年間購読料2,000円)	@	円	×				
<input type="checkbox"/>	ごみ袋代 (環境衛生委員・一般・商店)		円	×				袋
<input type="checkbox"/>	エコ肥料代	@	50 円	×				袋
<input type="checkbox"/>	凍結防止剤	@	円	×				袋
<input checked="" type="checkbox"/>	視察受入費	@	10,000 円	×				1 組
<input type="checkbox"/>	視察資料代	@	1,000 円	×			3	名
<input type="checkbox"/>	食味計測器 (村内)		200 円	×				回
<input type="checkbox"/>	食味計測器 (村外)		1,000 円	×				回
<input type="checkbox"/>	その他 (
上記の金額を、領収しました。								
令和 平成 年 4 月 4 日								
西栗倉村会計管理者								

請求明細書

鹿追町議会 様

請求書No. 221012-0426-0001
 発行日 2022年10月17日
 1141100000

株式会社 農協観光



種 別	金 額	摘 要
航空券	191,430	63,810円×3 11/3帯広→羽田→岡山 11/5羽田→帯広
宿泊券	24,000	8,000円×3 11/3~1泊 ルートイン津山駅
宿泊券	25,500	8,500円×3 11/4~1泊 リッチモンドホテル姫路
船車券	900	300円×3 11/5品川~羽田空港第1・2
JR券	49,380	16,460円×3 11/5 姫路~品川
手配料金	6,600	2,200円×3 - 自己負担(申請外)

貯金払戻請求書・貯金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

4年10月25日

振替用

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

お振込先 北海道	農協 信金 信組 信連 銀行 協同 会社	本店(所)	金額	十億	百万	千	円
貯金種目 ①普通 ②当座 ④貯蓄 ⑨その他	口座番号 0915306				2	978	10
お受取人 フリガナ おなまえ (株) 農協観光	フリガナ おなまえ 北海道観光		起算日・指定日 月 日	手数料徴収区分 ①即納 ②後納 ⑨不要	手数料(税込)	440	
ご依頼人 フリガナ おなまえ 04260001 鹿追町議会	フリガナ おなまえ 鹿追町議会						
おところ							

- 振込先金融機関へは、お受取人名のほか貯金種目・口座番号を通知します。お受取人名はカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- ご指定の口座から貯金を払い戻して振り込む場合、その払戻しができないときは振込はできませんのでご注意ください。
- この振込受付書(兼手数料受取書)は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。
- 振込ができない場合は、この手数料のほか、別途手数料がかかる場合がありますのでご了承ください。

取扱店



JAバンク

帯広エリアセンター
 担当者： 一戸 咲奈
 TEL： 0155-66-8730 FAX： 0155-47-2100

帳票番号 KW0111 2/3 2022.3



請求書

請求書No. 221012-0426-0001

発行日 2022年10月17日

11411000000

株式会社農協観光

帯広エリアセンター

〒080-0012

帯広市西2条南34丁目23番地

TEL:0155-66-8730

鹿追町議会 様

この度も、弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
2022年11月3日ご利用代金といたしまして、次の通りご請求申し上げます。
つきましては、2022年10月27日までにお振り込みください。
尚、振込手数料は、お客様にてご負担願います。

ご請求金額	¥297,810 -
-------	------------

ご請求内容

合計	¥297,810 -
予納金	¥0 -
差引ご請求額	¥297,810 -

お振込先

44019

北海道信連 本所
普通 No.0415306
(株)農協観光

お振込いただく際は、
お手数ですが依頼人名の前に下記の数字を入力いただけますようお願いいたします。

振込依頼書記載の数字：04260001

お問合せ

帯広エリアセンター
担当者：一戸 咲奈